

TFU 教育フォーラム 2018 (幼保コース版)

「主体的・対話的で深い学びを目指して ～子どもの学びをどう支援するか～」

期日：Part I 平成30年12月 8日 (土) 12:35～17:35
Part II 平成30年12月15日 (土) 12:35～17:35
会場：東北福祉大学国見キャンパス 大教室 他
主催：東北福祉大学 保育士・幼稚園課程



Part I 平成30年12月8日(土)

■ 開会式(12:35~13:00)

総合司会・・・TFU教育学科3年生 松崎 楓香(NHKプロジェクト)

TFU教育学科3年生 佐々木優衣(NHKプロジェクト)

開会宣言・・・実行委員長 TFU教育学科3年生 鷹觜 柊子(NHKプロジェクト)

企画説明・・・企画委員長 TFU教育学科 3年生 橋本 日菜(NHKプロジェクト)

3法令改定(改訂)のポイントや、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の趣意等について概説し、【TFU教育フォーラム2018】の企画の枠組みについて説明します。

■ 課題報告(13:00~13:15)

テーマ「実習における『主体的・対話的で深い学び』～保育所実習の課題から～」

レポーター・・・TFU教育学科3年生 小野寺杏紀(NHKプロジェクト)

TFU教育学科3年生 菅原 亜美(NHKプロジェクト)

3年次の保育所実習において、日々の実践の中に見出した子どもたちの「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」について、提出された諸種の実習課題の中から、まとめて報告します。



■ 第1部 シンポジウム(13:15～15:15)

テーマ「実践にみる『主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)』」

ファシリテーター・・・TFU教育学科3年生 濱田 汐里(NHKプロジェクト)

■ 趣旨

子どもの「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」が創出されるよう、保育者はどのように環境構成や援助を行うのか、また実践の中にどのようにそうした学びの芽生えを見いだしていくのか、話題提供者の発題をもとに保育所実習・幼稚園実習での実際場面から参加者全員で探っていきます。

話題提供Ⅰ・・・TFU教育学科3年生 長島 遥(実習園;卸町光の子保育園)

話題提供Ⅱ・・・TFU社会福祉学科3年生 千葉 彩夏(実習園;太陽認定こども園)

話題提供Ⅲ・・・TFU教育学科4年生 飯田 悠夏(実習園;福島文化笹谷幼稚園)

■ 休憩(15:15～15:30)

■ 第2部 実践研究報告&ワーク(15:30～17:20)

テーマ「『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)』を捉えるには」

ファシリテーター・・・TFU教育学科4年生 小岩 芽衣(環境プロジェクト)

■ 趣旨

幼稚園教育要領等に明示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」について、どのようにしたらそうした視点を持つことができるのか、実践の営みにおいて子どもの育ちを支えようとしている保育者の学びの実際を紹介し、参加者全員で「10の姿」の視点の習得を図ります。

①「10の姿」概説

まずは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」について概説し、その一つ一つがどういうことを指しているのかなどについて具体的に例示しながら、参加者全員で基礎的理解を図っていきます。

TFU教育学科4年生 高月 美樹(環境プロジェクト)

TFU教育学科4年生 千葉萌々子(環境プロジェクト)

TFU社会福祉学科4年生 菅原 優友(環境プロジェクト)

②研究報告

「10の姿」について、実際の保育現場においてはどのように日々の営みのなかに位置づけられているのか、また保育者は子どもの育ちを支えるために実践においてどのように視点を持つようとしているのか、そしてどのように浸透させているのかなど、その取組みの実際例を報告します。

TFU教育学科4年生 安田 早苗(環境プロジェクト)

③ワーク

まず、子どもの姿(エピソード・写真など)を提示し、簡単に状況を説明します。その場面で、子どもが何に興味をもっているのか、何をしようとしているか、何に気づいているのか、何を学んでいるのかなどについて、対話により考え合います。その上で、この経験から子どものどのような力が育ってきているかを「10の姿」に照らし合わせてグループで検討し合います。そして、各グループでの検討結果を発表し、成果を共有します。

TFU教育学科4年生 相澤 志帆(環境プロジェクト)

TFU教育学科4年生 菊池 海里(環境プロジェクト)

TFU教育学科4年生 佐藤 瑠華(環境プロジェクト)

TFU教育学科4年生 古澤由佳梨(環境プロジェクト)

TFU教育学科4年生 宮川 真大(環境プロジェクト)

閉会式(17:20~17:35)

総括……TFU保育士・幼稚園課程主任 和田 明人

講評……御来賓(他大学関係者、保育現場関係者方)

開会宣言……副実行委員長 TFU教育学科3年生 佐藤 花菜



Part II 平成30年12月15日(土)

■ 開会式(12:35~12:45)

総合司会…………TFU教育学科3年生 松崎 楓香、佐々木優衣

■ 第1部 共同研究発表(12:45~15:45 *途中で適宜休憩を入れます)

テーマ「【保育実践ガイドライン(乳児版)】の開発 -経緯・過程・未来-」

※《ミシュラン・プロジェクト、子どもの発達勉強したいプロジェクト》共同研究

■ 趣旨

保育実践方法のあるべき姿を具体的かつ詳細に文言化・明示化した【保育実践ガイドライン(乳児版)】を開発し始めた学生プロジェクトにより、取り組みの経緯や、作成過程の実際、課題及び未来展望などを含め、同ガイドラインについて発表します。

趣旨説明……TFU教育学科4年生 伊藤ほのか(ミシュラン・プロジェクト)

研究発表I……TFU社会福祉学科4年生 前野穂乃実(ミシュラン・プロジェクト)

研究発表II……TFU教育学科4年生 佐藤 友紀(ミシュラン・プロジェクト)

研究発表III……TFU教育学科4年生 山本ひなた(発達プロジェクト)

研究発表IV……TFU教育学科4年生 川合 理紗(発達プロジェクト)

①経緯

新しい指針・要領等3法令において、従前以上に〈養護〉の重要性が強調化され、『乳児および1・2歳児の保育』を理解し、乳児期の保育や3歳未満児の子どもの育ちをとらえたうえで、3歳以上の幼児期の学びと育ちの連続性を考えていくことが求められるようになりました。また、子ども・子育て支援新制度により、小規模保育事業や家庭的保育事業等の新たな形態の保育サービスも台頭してきています。

こうした状況で、保育の質の向上のために、保育を学ぶ学生としてできることはなにかを問い続けた結果、学生はもちろんのこと、現場で保育に勤しむ保育者にも役に立つ保育実践指針の作成と、その運用システムの開発に挑むこととなりました。

②過程

まず、乳児保育の理論や実践方法について文献・実地ともにつぶさに調査を行い、子どもの発達に関する基礎知識を加えることなどをもしながら、これまでは情報の収集と枠組み編成の試行錯誤を重ねてきました。

現時点のガイドラインは7つの大項目に分けられており、発達の流れや乳児保育を行うにあたって基本的留意事項、各場面ごとの援助の実際、保育を行う際の空間分けや遊びの環境作りなどについてまとめられています。

③未来

近い将来、WEB配信を可能にし、必要情報やコンテンツを学生が追記・更新していくシステムを運用することを目指しています。そのため、実践者・利用者の意見を取り入れるなど随時モニタリングを行い、また、今後は後輩に引き継ぎ、乳児版のみならず各年齢別にも作成し、TFU保育士・幼稚園課程の学びの成果を社会に向けて発信し続けていきたいです。

休憩(15:45~16:00)

第2部 プロジェクト活動報告(16:00~17:00)

ファシリテーター・・・TFU教育学科4年生 渡邊祐貴

研究発表I・・・仙台・関東園見学プロジェクト(TFU教育学科4年生 遠藤肖華)

研究発表II・・・保護者支援プロジェクト(TFU社会福祉学科4年生 山内修平)

研究発表III・・・出稼ぎプロジェクト(TFU教育学科4年生 高橋美羽)

研究発表IV・・・ぴよねっと(TFU社会福祉学科4年生 阿部里美)

趣旨

“オープンスペース・テクノロジー(OST)”によって発足した学生主体のプロジェクトによるTFU保育士・幼稚園課程ならではのアクティブ・ラーニングの数々をご紹介します、学び(PBLプロジェクト)の成果を全体で共有し合います。

“オープンスペース・テクノロジー(OST)”とは？

“オープンスペース・テクノロジー(以下、略して《OST》と言います)”とは、重要な課題等について関係者を一堂に集めて、参加者が解決したい課題や議論したい課題を自ら提案し、自主的にスケジュールを決めて話し合いを行う会議の手法です。

参加者の当事者意識と自己組織化能力を最大限に引き出すことにより、参加が納得できる合意に到達できるようにするところに最大の特徴があるとされております。

本学の実習指導では、3年生の保育所実習終了後に《ワールド・カフェ》や《AI;アプリシエイティブ・インクワリー》等の大規模型対話技法を用いて対話や発議を重ね、3年生の後期実習指導がすべて終わりになる1月頃に、すなわちいよいよ最終学年になる目前の時期に《OST》を行います。

《OST》では、3年生全員が教室の中でサークル状になり、その中心で担当教員から「今まで約3年の間、保育のいろんな学びをやってきたけれど、この後残された時間で、どのように自分たちで自分たちのためになるどんな保育の学びをしたいか？

みんな勝手に考えてみてくれ!」と、いきなり問いかけられます。突然の切り出しに最初は戸惑いますが、徐々に触発されたメンバーがそれぞれ自発的にアジェンダを出し合い、自主的に集まり始め、企画に賛同したメンバーがプロジェクトを結成し、いろんな活動や学びに取り組み始めます。このプロジェクトとは別の言い方をすれば、“勝手に連”的に〈やりたい人が自分たちで課題に取り組む保育の学びチーム〉です。

これは、テーマも、内容も、参加自体も、学生の自由意思で行うまさに学生主体型のPBL(Project-Based Learning)という新しい学びです。

閉会式(17:00~17:35)

総括・・・TFU保育士・幼稚園課程 全教員

講評・・・御来賓(他大学関係者、保育現場関係者方)

開会宣言・・・副実行委員長 TFU教育学科3年生 佐藤 花菜

これまでの「保育キャリアデザインセミナー」

第一部



第二部



お申し込みについて

東北福祉大学ホームページからのお申し込み

申し込みフォームより、氏名・連絡先等入力し、登録を行ってください。



申し込みQRコード

E-mailからのお申し込み

下記メールアドレスより、氏名・連絡先等入力し、送信してください。メール受信確認後、担当者より返信致します。

教職課程支援室 保育士・幼稚園課程 担当：日野 hoiku@tfu-mail.tfu.ac.jp

電話からのお申し込み

下記電話番号より、氏名・連絡先等お申込手続きを行ってください。

教職課程支援室 保育士・幼稚園課程 担当：日野 022-717-3308



東北福祉大学
TOHOKU FUKUSHI UNIVERSITY

教育・教職センター 教職課程支援室

保育士・幼稚園課程

〒981-8522 宮城県仙台市青葉区国見1-8-1

TEL:022-717-3308 E-mail:hoiku@tfu-mail.tfu.ac.jp